



南武橋両岸取り付け部撤去 橋脚杭工事

2024.03.07



阪神橋梁下拡幅工事全容見えてきた。

2024.03.16



落差工撤去帯工ができた。

2024.03.16



武庫大橋下流右岸 土嚢撤去したら上流側と同じ風景になる

2024.03.16



武庫大橋上流右岸 雑木刈り取られスッキリした

2024.03.16



上武庫橋下流側 (石の並びに注目)

2024.03.16

南武橋両岸の取り付け部撤去。現状下流側に歩道がなく拡張されるものと思われ橋脚用の基礎杭掘削中。歩道ができた段階で仮設歩道撤去本格供用。その後旧橋梁撤去が始まる模様。阪神橋梁左岸側拡幅工事は掘削が始まり丁張から拡幅後の姿が分かるようになった。両岸拡幅後潮止閘撤去の運びとなるのではないかとと思うが、既に矢板打ちは終わっており塩水浸透の心配は無く拡幅工事と関係なく潮止閘撤去は可能らしい。

一号床止め工堰撤去、帯工コンクリート打設終わり全容が見えてきた。川幅の半分撤去帯工化され、当面通常の流れは右岸側のみとなり、アユ遡上しやすくなるものの遡上観察し難くなる。2号床止め工下流側護床工設置工事が進んでいるが、昨年剥がれた堰天は剥がれたままで補修されるかどうか分からない。低水護岸工事は上流側と同一仕様で進められ土嚢撤去したら整然とした幾何学的な風景になるものと思う。工事の様子を見に来た近隣住民は、スッキリして綺麗、松くらいは残して欲しいが洪水流木化の恐れなおある低水護岸の雑木撤去も良いと好評だった。上武庫橋下流が砂州土砂掘削、石の列は環境配慮の結果？

